

第 15 回世界水素エネルギー会議 (WHEC15) 実施概要

2004/08/20 水素エネルギー協会

日時：2004年6月27日～7月2日

会議登録者の国数：57カ国・地域1472名

場所：パシフィコ横浜国際会議場

会議参加者の国数：37カ国・地域1396名

主催：水素エネルギー協会、新エネルギー・総合技術開発機構

展示ブース数：65社・団体

共催：国際水素エネルギー協会、燃料電池開発情報センター

展示及び協賛企業・団体：

東京ガス株式会社、トヨタ自動車株式会社、BMW Group、出光興産株式会社、新日本石油株

後援：経済産業省、神奈川県、横浜市、新エネルギー財団、燃料電池実用化推進協議会、日本ガス協会、エネルギー総合工学研究所、エンジニアリング振興協会、日本工業ガス協会、大阪科学技術センター、日本自動車研究所、金属系材料研究開発センター、日本電機工業会、自動車技術会、高分子学会、電気化学会、応用物理学会、エネルギー・資源学会、日本金属学会、日本化学会、日本機会学会、電気学会、化学工学会、触媒学会、日本セラミックス協会、低温工学協会、生物工学会、石油連盟

式会社、日本酸素株式会社、岩谷産業株式会社、大阪ガス株式会社、日産自動車株式会社、昭和シェル石油株式会社、株式会社本田技術研究所、住友化学工業株式会社、千代田化工建設株式会社、(財)エンジニアリング振興協会、川崎重工業株式会社、(財)エネルギー総合工学研究所、サムテック株式会社、バブコック日立株式会社、石川島播磨重工業株式会社、(財)大阪科学技術センター、関西電力株式会社、富士電機ホールディングス株式会社、(財)金属系材料研究開発センター、三菱重工業株式会社、株式会社イワキ、日本産業ガス協会、株式会社テクメイション、昭栄化学工業株式会社、株式会社岡崎製作所、株式会社日本製鋼所、新日本製鐵株式会社、新コスモス電機株式会社、NOK株式会社、株式会社日本計画機構、横河電機株式会社、三菱化工機株式会社、ユミコアプレシヤスメタルズジャパン株式会社、株式会社四国総合研究所、トキコテクノ株式会社、長瀬産業株式会社、日本原子力研究所、株式会社栗本鐵工所、横浜市、三重県、Elsevier、株式会社荏原製作所、株式会社鈴木商館/三井物産、株式会社タツノメカトロニクス、住商エアウォーター株式会社、マツダ株式会社、株式会社 ジャパンエナジー、Linde AG、BP、HyRadix、Cabot Superior Micro Powders、

会議参加者実数：総数 2019名

内 会議関係 1396名

展示関係 515名

プレス 67名

他委員会等 41名

内 当日登録 156名

招待参加者 217名

発表件数：455件

内 口頭発表 303件

ポスター 152件

AIR LIQUID Japan, Ltd.、日本ジェネラルモーターズ株式会社、カナダ大使館、
QuestAir Technology Inc.、Greenlight Power Technologies Inc.、JFE コンテナ(株)/Dynetek Industries Ltd.、Ballard、Hydrogenics Corporation、BChydrog、Fuel Cells Canada、Alberta Research Council、FuelCon AG、
水素エネルギー協会、燃料電池開発情報センター、水素・燃料電池実証プロジェクト、新エネルギー・産業技術総合開発機構、IEA/Hydrogen Implementing Agreement、National Hydrogen Association、PATH(Partnership for Advancing the Transition to Hydrogen)、Canadian Hydrogen Association、Association Francaise de L'Hydrogene、Lyon、World Hydrogen Technologies Convention, Singapore、Arno A. Evers FAIR-PR

展示イベント：

バス試乗者数	250名
乗用車試乗者数	250名
スクーター・車いす	133名

水素エネルギー市民講座：

参加者	36名
-----	-----

横浜水素宣言署名団体：

HESS、NEDO、IAHE、EHA、NHA、GHA、
CHA、AFH2、CAHE、KHEA

会議収支

収入：	142,887,015円（未入金を含む）
支出：	142,887,015円（未払金を含む）